



慰霊祭主催団体へ支援金を寄託（左：久喜和裕事務総長 右：菅家弘道氏（PLAJA 理事長））

スマトラ島沖地震 支援レポート

H28/12/19

コンテンツ

忘れない思いと伝える形

インド洋スマトラ島沖地震及び大津波により犠牲になられた方々、ご遺族の皆様には衷心より哀悼の意を表し、悲しみの中におられる皆様に、心よりお見舞い申し上げます。

深刻な被害

2004年12月26日午前7時58分（日本時間午前9時58分）、インドネシア共和国スマトラ島アチェ州沖でM9.0（米国地質調査所発表）の巨大地震が発生いたしました。

これにより発生した大津波がインドネシアのみならず、タイ、マレーシア、インド、スリランカ、モルディブ、さらにはアフリカ大陸まで到達し、未曾有の被害をもたらしました。

内閣府の平成18年防災白書によると、被災者は約206万人、死者・行方不明者数は約23万人で、40

名（タイ28名、スリランカ12名）の邦人の死亡が確認されています。

法要の役割

本会は国内外を問わず、人道的支援を実施しています。スマトラ島沖地震へは、犠牲者追悼法要を他団体とともに継続して厳修しております。それは亡くなられた方への追悼と同時に、津波の事実を忘れないためでもあります。

昨年、11月5日が「世界津波の日」として国連で採択され、日本では同日を「津波防災の日」として制定されています。どちらも対策や意識の向上が謳われていますが、私たちは「忘れない」という思いが大切だとも考えています。

本会は引き続き支援を継続し、犠牲者への追悼とともに、津波の事実を伝えてまいります。



12年間の足跡

地震発生から今日までの継続した支援内容をご紹介します（P2）



思いは確かに届いています

多くの皆さまから義援金を頂戴しました。ご寄託いただいた皆様に改めて御礼を申し上げます（P4）

※本報告書は既報の内容も含まれます

12年間の足跡

地震発生直後から現在に至るまでの、本会の支援活動をご紹介します。皆様からいただいた義援金は、津波被災者への支援のほか、NPO 法人 PLAJA（現在）主催の慰霊法要継続開催にも活用しております。

●平成 16（2004）年 12 月 26 日
インド洋スマトラ島沖地震発生。

●平成 17（2005）年 1 月 14 日
WFB（世界仏教徒連盟）へ 100 万円を寄託。

●同年 1 月 20 日
・国連難民高等弁務官事務所（UNHCR）、国連世界食糧計画（WFP）、スリランカ大使館、日本赤十字、仏教 NGO ネットワークへ、各 100 万円を寄託（計 500 万円）。
・シャンティ国際ボランティア会へ 10 万円を寄託。

●同年 1 月 22 日



●本会職員が現地視察及び WFB 主催の津波被災追悼法要に参列（WFB 本部）。

●同年 5 月 8 日・9 日



・タイ政府観光庁とプーケット日本人会の要請で「インド洋沖地震・アングマン海津波犠牲者追悼法要」を厳修。藤井日鉦本会会長（当時）の宗派である日蓮宗の井上総務（当時）を含む 23 名が出仕（以降、法要時は日蓮宗僧侶が出仕）。
・タイ政府と WFB（世界仏教徒連盟）に対し、各 100 万円を寄託。

●同年 10 月 5 日
仏教 NGO ネットワークへ 100 万円を寄託。

●平成 18（2006）年 12 月 26 日



・インド洋津波犠牲者 3 回忌慰霊法要の厳修（カマラビーチ）。
・プーケット日本人会が中心になり建立された慰霊碑の除幕式を実施。

●平成 21（2009）年 10 月 28 日
仏教 NGO ネットワークへ 100 万円を寄託。

●平成 22 (2010) 年 12 月 26 日



インド洋津波犠牲者 7 回忌慰霊法要の厳修 (カマラビーチ)。

●平成 23 (2011) 年 3 月 11 日

東日本大震災が発生。

●同年 6 月

「津波対策の推進に関する法律」が制定され、毎年 11 月 5 日が津波防災の日として定められる。

●平成 26 (2014) 年 12 月 26 日



・インド洋津波犠牲者 10 周年慰霊法要の厳修 (カマラビーチ)。

●平成 27 (2015) 年 12 月 22 日

第 70 回国連総会本会議で毎年「世界津波の日」が制定。

●同年 12 月 26 日



- ・インド洋津波犠牲者 11 周年慰霊法要の厳修 (カマラビーチ)。
- ・本会救援基金から義援金 50 万円を PLAJA に寄託 (左：菅家弘道氏 (PLAJA 理事長))。

●平成 28 (2016) 年 11 月 5 日



- ・インド洋津波犠牲者 13 回忌慰霊法要の厳修。
- ・本会救援基金から義援金 50 万円を PLAJA に寄託。

思いは確かに届いています

地震発生以降、沢山の皆様から義援金をお預かりしました。
浄財をお寄せいただき、改めて厚く御礼を申し上げます（順不同・敬称略）。

近龍寺 松濤弘道

慈眼寺 櫻井英幸

尊永寺

臨済宗相国寺派

群馬県仏教連合会

山梨県仏教会

金峯山修験本宗

時宗

大阪府仏教会

国際仏教興隆協会

都路照信

萬福寺 安本利正

永雲寺

念法眞教

青森県仏教会

竜王町仏教会

長野県仏教会

愛媛県仏教会

法華宗陣門流

薬師寺

聖観音宗浅草寺

法華宗眞門流

和宗

臨済宗円覚寺派宗務本所

臨済宗円覚寺派円覚寺

法泉寺

北条仏教会

日蓮宗

甲賀湖南仏教会

西山浄土宗

黄檗宗萬福寺

仏教振興財団

明順寺 齋藤明聖

信楽町仏教会

埼玉県仏教会

臨済宗妙心寺派花園会本部

鶴見区仏教会

長野市仏教会

眞宗大谷派東本願寺眞宗会館

天台眞盛宗

芝仏教会

藤井日光本会会長（当時）

高野山眞言宗社会人権局

本会人権啓発講演会

本会新年懇親会募金

※上記はスマトラ島沖地震への指定寄付者（2016年12月1日現在）を記載させていただいております。

スマトラ島沖地震指定寄付総額

17,413,821 円

本会へご寄託いただきましたこと、
厚く御礼を申し上げます

同じミッションを、違うメソッドで

本会が支援金を寄託した団体を紹介します。
どの団体も、被災者とともに歩むことを、ずっと続けています。それぞれのやり方で。



名称：仏教 NGO ネットワーク



仏教系 NGO の連携を図る団体。
寺院備災ガイドブックの頒布を実施している。下記シャンティ国際ボランティア会は BNN に所属。



名称：シャンティ国際ボランティア会



1981 年結成の曹洞宗ボランティア会が前身。1999 年に現名称に変更し、
2011 年に公益社団に移行。ネパール・ミャンマー・タイを中心に着実に支援活動を実施。



名称：NPO 法人 PLAJA



プーケット長期滞在中高年の会 (PLAJA) が NPO 法人に移行。
インド洋津波慰霊祭の実施のほか、邦人のロングステイに関するサービスの提供、日本文化体験を実施。

【その他】

・WFB（世界仏教徒連盟）、タイ政府、国連難民高等弁務官事務所（UNHCR）、国連世界食糧計画（WFP）、スリランカ大使館、日本赤十字

あなたの支えが、力となります



※写真は平成 28 年熊本地震発生時の様子

本会では、国内外における災害救援や人道的支援に対して、緊急且つ迅速な対応をすべく「救援基金」を常時開設しております。ご寄託いただいた義援金は、被災地域への支援・被災寺院の復興・被災における僧侶のボランティア活動等へ拠出いたします。

東日本大震災、平成 28 年熊本地震への指定寄付も引き続きお申しいただけます。

みなさまからの温かい浄財をお寄せいただければ、幸いです。

救援基金口座

【郵便振替口座】

口座番号：00110-9-704834

口座名義：全日本仏教会救援基金

※銀行振込をご希望の場合、本会財務部（03-3437-9275）までお問い合わせください

※指定寄付の際は、振替用紙に指定寄付名をご記入ください

「救援基金」へのご寄付は東京都の条例指定対象寄付です。ご寄付された個人・法人は、所轄の税務署へ本会発行の領収書を添付して申告することにより、所得税の控除及び損金算入（限度額以内）が適用されます。

2017 年に財団創立 60 周年を迎えます



編集：広報部

作成日：平成 28 年 12 月 19 日

問い合わせ：TEL 03-3437-9275